

報告第5号

平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算報告書並びに  
平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算報告書並びに平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画を別紙のとおり提出する。

令和元年6月3日提出

取手市長 藤井信吾

平成30年度

# 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

平成30年度事業報告  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度事業計画に則り、生活困難者等の方々への施設利用を含め高齢者福祉サービスの向上を中心に、また、取手市域から信頼される高齢者介護ケアサービスの要として、事業を実施してまいりました。

I 公益事業

1 介護老人保健施設サービスの運営（生活困難者等の方の利用状況）

＜居住費・食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

- (1) 生活保護等の方、老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 0名/年間実利用者数
- (2) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の方 188名/年間実利用者数
- (3) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、上記(1)、(2)に該当しない方 250名/年間実利用者数

2 短期入所療養介護サービス（ショートステイ）の運営（生活困難者等の方の利用状況）

＜居住費・食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

- (1) 生活保護等の方、老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 0名/年間実利用者数
- (2) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の方 40名/年間実利用者数
- (3) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で、上記(1)、(2)に該当しない方 31名/年間実利用者数

3 事業計画に基づいた入所及び短期入所事業の状況報告

(1) 入所年間延利用者数

28,779名（1日平均利用者数78.8名）

短期入所年間延利用者数

2,230名（1日平均利用者数6.1名）

平均年齢

入所者 84.6歳

在宅復帰率 短期入所者 83.5歳  
70.6% (年間)

(2) 家族会の実施

- ・ 第1回家族会 平成30年 8月 5日に実施
- ・ 第2回家族会 平成30年12月16日に実施

(3) 内部（自己）及び外部（ご利用者様）評価の実施

（緑寿荘ホームページ及び広報誌で公表）

<内部（自己）評価>

- ・ 平成29年度緑寿荘からの転院症例
- ・ 平成29年度認知症短期集中リハビリ評価表集計報告
- ・ 平成29年度アクシデント発生集計報告

<外部（ご利用者様）評価>

- ・ 平成29年度入所ご利用者様による食事満足度調査集計報告
- ・ 平成29年度通所リハビリテーション満足度調査報告
- ・ 平成29年度苦情及びクレーム集計報告
- ・ 第1回家族会アンケート報告
- ・ 夏まつり参加者アンケート報告
- ・ 第2回家族会アンケート報告
- ・ 冬まつり参加者アンケート報告

(4) リスク管理・感染症対策・事故防止・身体拘束廃止等への対応の実施

毎月第4金曜日に安全・衛生委員会を中心に、報告に基づいて各事例を多方面から分析検討し、事故予防対策等の徹底を図りました。

(5) 「食」に関する安心安全サービスの充実

毎月行われる栄養管理会議を中心に検討し、安心安全な食事を提供しました。

<食事プロジェクト>

- ・ すし祭り 3月に実施
- ・ 流しそうめん 6月に実施
- ・ 毎月のお楽しみ献立（季節行事食を含む） 月3回実施
- ・ 毎月のイベント（乳製品） 月1回実施
- ・ 調理クラブ 年6回実施
- ・ 外出してのランチ 月1回実施
- ・ お茶会 週1回実施

(6) リハビリ専門施設としての更なる充実

在宅復帰施設としての要であるリハビリを下記のとおり実施しました。

①状態別リハビリテーションの実施状況

様々な状態に合わせたリハビリテーションを行い、身体機能の維持向上に努めてまいりました。

<個別生活動作療法>

関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習）、起居動作練習、移乗動作練習、歩行練習、トイレ動作練習、床上動作練習、階段（段差）昇降練習

<物理療法（疼痛の緩和）>

ホットパック（湿式・乾式）、マイクロ波、低周波、足浴

<浮腫療法>

リンパマッサージ、メドマー（治療器械）、筋力増強運動（マシンを使った練習を含む）、足浴

<個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練）、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

<摂食嚥下療法>

直接的嚥下訓練（食物を使った訓練）、間接的訓練（口腔体操（発声練習含む）・アイスマッサージ）

リハビリ実施回数

（対象者：入所、短期入所者）

リハビリ内容	実人数	延実施回数
個別生活動作療法	218人	14,621回
物理療法（疼痛の緩和）	50人	1,693回
浮腫療法	12人	380回
個別及び集団での認知療法	111人	3,914回
摂食嚥下療法	27人	1,413回

②在宅復帰のご利用者様への退所前後訪問の実施

在宅復帰されるご利用者様のご自宅に退所前後に訪問して、快適な生活が営めるように専門職の観点から必要なサービス計画を立案し、実施しました。

<年間在宅復帰件数> 77件（内76件に退所前後訪問を実施）

(7) 消防訓練

平成30年6月及び11月に総合訓練（通報訓練、消火訓練、避難誘導

訓練，夜間想定訓練）を実施しました。

(8) 管理業務に関すること

①各設備保守点検（主なもの）

- ・エレベーター保守（遠隔監視：随時，定期：毎月）
- ・電気工作物保守（毎月1回実施）
- ・消防設備点検保守（年2回実施）
- ・その他の設備保守（毎月1回実施）

②各設備法定検査及び報告（主なもの）

- ・エレベーター法定検査
- ・簡易専用水道管理検査（受水槽関係を含む）

4 通所リハビリテーションサービスの運営

(1) 生活困難者等の方の利用状況

＜食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

生活保護等の方，老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 2名／年間実利用者数

(2) 事業計画に基づいた通所リハビリテーションの状況報告

在宅生活の要である通所リハビリテーションは，他の通所サービスとは異なり，医師・療法士・看護師・介護士等の多職種が個別ケアプランに基づきリハビリテーションを実施しています。また，単にリハビリテーションの提供だけでは通う楽しみも半減してしまいます。そうした観点より，ご利用者様に満足いただけるように各種イベントを開催して，楽しみながらリハビリが行えるサービスの提供に努め，継続したリハビリテーションの効果で身体機能の維持向上に努めてまいりました。

①年間延利用者数 8,902人 平均年齢 82.5歳

②リハビリテーションの実施状況

＜個別生活動作療法＞

関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習），起居動作練習，移乗動作練習，歩行練習，トイレ動作練習，床上動作練習，階段（段差）昇降練習

＜物理療法（疼痛の緩和）＞

ホットパック（湿式・乾式），マイクロ波，低周波，足浴

＜浮腫療法＞

リンパマッサージ，メドマー（治療器械），筋力増強運動（マシンを使った練習を含む），足浴

<個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練），学習療法，回想法，運動療法，リラクゼーション・マッサージ療法，作業療法

リハビリ実施回数

（対象者：通所リハビリ）

リハビリ内容	実人数	延実施回数
個別生活動作療法	128人	5,939回
物理療法（疼痛の緩和）	44人	2,792回
浮腫療法	3人	47回
個別及び集団での認知療法	1人	6回

③各種イベント等

<月例会>

ご利用される皆様に喜んでいただけるイベント等を立案して，通う楽しみを提供し，継続したリハビリの提供ができるように実施しました。

イベント内容	実施日	参加人数
お花見外出会	平成30年 4月 2日～ 平成30年 4月 6日	162名
緑寿荘大運動会	平成30年 5月31日	28名
大相撲 緑寿荘場所	平成30年 6月 7日	36名
通所「夏祭り」	平成30年 7月25日～ 平成30年 7月26日	39名
すいか祭り	平成30年 8月23日	31名
敬老週間（95歳以上のご利用者様を表彰）	平成30年 9月17日～ 平成30年 9月22日	176名
カラオケ大会	平成30年10月31日	35名
クリスマス会	平成30年12月25日	32名
節分	平成30年 2月 1日	31名
鯰祭り（寿司店による出張寿司）	平成31年 2月28日	36名
さくら祭り	平成31年 3月27日	35名
合計		641名

## 5 地域包括支援センター事業の運営

取手市内の第2圏域内（稲，野々井，井野台三～五丁目，駒場，新町，寺田，中原町，西，白山，本郷）に居住する高齢者を対象に，以下の事業を実施しました。

### (1) 包括的支援事業

#### ①介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアプランを作成し，プランに基づき地域支援事業を行いました。

- ・総合事業サービス（通所型・訪問型） 784名（国保連請求数）
- ・元気ハツラツ教室 11名（実利用者数）
- ・その他一般介護予防支援事業への支援

#### ②総合相談・支援

相談対応及び専門的・継続的な相談支援や実施に当たって必要なネットワークの構築，地域の高齢者の状況の実態把握を行いました。

- ・相談登録者数 2,089名
- ・相談件数 7,500件

#### ③権利擁護

地域の民生委員，介護支援専門員などの支援だけでは十分に解決できない問題について，成年後見制度の活用促進，老人福祉施設等への措置の支援，高齢者虐待への対応，困難事例への対応，消費者被害の防止に関する諸制度を活用し，個別及び対策会議を開催して対応しました。

- ・相談件数 1,140件
- ・成年後見制度市長申立てへの支援 6名
- ・高齢者虐待防止への支援 5名
- ・高齢者虐待に関する会議 3回
- ・成年後見に関する会議 10回
- ・消費生活セミナーの開催 1回（介護等専門職員向け 23名参加）

#### ④包括的・継続的ケアマネジメント支援

包括的，継続的なケア体制の構築，地域における介護支援専門員のネットワークの構築・活用，介護支援専門員に対する日常的個別指導相談，地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例等への指導・助言を行いました。

- ・相談件数 2,680件
- ・困難ケース同行，会議等参加 33回



- ・介護事業所職員との意見交換会 3回
- ・個別事例検討の実施 1回（介護等専門職員向け 14名参加）

#### ⑤生活支援体制整備事業

地域住民と話し合いを重ね、多様な日常生活上の必要な支援体制の整備強化及び高齢者の社会参加のための協議会を開催しました。

- ・地域支え合いづくり推進協議会等 2回
- ・地域住民との話し合い 19回
- ・他市町村事業視察 3回（つくばみらい市，結城市）

### (2) 介護予防支援業務

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービスを適切に利用することができるように、介護予防サービス計画の作成やサービス等の提供が確保されるように事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。

- ・介護予防支援関係 980件

### (3) その他

#### ①高齢者の実態把握に関する事業

事前に把握している圏域にお住まいの高齢者のご自宅に訪問し、実態把握に関する調査を行い、必要に応じて対応を図りました。

- ・対象高齢者数 462名

#### ②介護予防に関する普及啓発を行う事業

介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するため、パンフレット等の作成及び配布、有識者等による講演会や相談会等の開催など、市が介護予防の普及啓発として効果があると認める事業を行いました。

- ・健康教育 7回
- ・げんきサロン，ふれあいサロン，高齢者クラブへの訪問 9回

#### ③介護予防に関する活動を行うボランティア等の人材育成並びに介護予防に資する地域活動を行う組織の育成及び支援を行う事業

- ・認知症サポーター養成講座 1回
- ・認知症についての講話 7回
- ・認知症サポーターステップアップ養成講座 1回

#### ④介護予防に関する事業に係る評価を行う事業及び介護保険法に規定する

## 任意事業

- ・配食サービス実態把握事業 20件

### ⑤認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業を行いました。

対象者 8名

- ・認知症初期集中支援チーム員会議 15回  
(構成メンバー：医師・保健師・主任介護支援専門員)
- ・チーム医師同行訪問 6回
- ・医療機関等への受診同行 5回

### ⑥地域ケア会議推進事業

- ・地域ケア会議 34回
- ・介護予防普及展開事業地域ケア会議 1回(傍聴者 50名)
- ・他市町村事業視察 1回(五霞町)

### ⑦その他の事業

一般市民向け認知症普及に関する講演会を開催しました。  
「ぼけますからよろしくお願ひします」 103名参加

## 6 職員の処遇改善

### (1) 人事考課

職員がそれぞれ1年間の具体的な業務や、自己啓発に関する目標を上司を交え立案し、期首・期中・期末にそれぞれ面談を行い、目標に対して評価を行いました。

### (2) 職員教育制度の充実

職員教育制度を充実させ、サービス提供者としてふさわしい職員となるための教育プログラムを実施しました。また、他の先進施設への実務研修や勉強会等の拡充、外部研修会(事例発表)等への参加を通じ、看護・介護・リハビリ等のスタッフ間で技能向上に努めた交流を行いました。

<施設内研修（職員対象・勉強会等を含む）>

研修内容	参加人数
職員研修（就業規則，関係法令，倫理規定，処遇改善）	20名
人事考課と給与体系について	18名
R4システムとICFステージング（外部講師）	75名
栄養マネジメントについて	20名
感染症と対策について（外部講師）	26名
認知症ケアについて	23名
アクティビティケアについて	24名
回想法について（外部講師）	30名
シーティングについて	30名
認知症初期集中支援チームの活動について	21名
皮膚トラブルと褥瘡管理について（外部講師）	24名
R4システムとICF・定期検討会について	28名
嚥下調整食に求められるもの（外部講師）	33名
口腔ケア講習会（外部講師）	28名
ターミナルケアについて	22名
通所リハビリについて	25名
効率良く疲労を回復しよう（産業医）	33名
フォーカスチャーティングについて	25名
施設によるアクシデント予防の意識づけ	19名
身体拘束排除について	19名
非常災害時の対応について	15名
認知症とそのケアについて（外部講師）	35名
糖尿病について	30名
嚥下障害と嚥下訓練について	18名
在宅復帰支援と地域連携（まとめ）	42名
働き方改革関連法・処遇改善・36協定について	70名
施設内研修合計	753名

<職員外部研修>

研修内容	研修回数	参加者数
利用者へのサービス向上関係	3回	4名
給食，栄養関係	5回	5名
専門職の技術向上関係	35回	43名
研究発表会	2回	14名

働き方改革関連セミナー	2回	2名
外部研修合計	47回	68名

### (3) 健康管理部による健康管理の徹底

介護施設で働く職員環境の改善や職員の健康管理を目的に、下記項目を実施して、職員の健康管理に努めました。

#### ①健康管理活動

##### ・定期健康診断

第1回：平成30年5月～6月に実施

第2回：平成30年11月～12月に実施（夜勤従事者）

・産業医による保健指導及び健康相談を毎月第4水曜日に実施しました。

・職員ストレスチェックを平成30年10月に実施しました。

#### ②教育活動

・産業医によるセミナーを平成30年11月に実施しました。

#### ③健康づくり活動

・職員への健康セミナー参加等推進活動及び各種勉強会への参加（内部・外部研修会への参加）を推進しました。

#### ④サービス向上及び処遇改善会議等

会議等の名称	参加職種	実施状況	会議等の主な内容
管理職戦略会議	施設長，事務長，課長，課長補佐，係長	1回/月	施設運営上の戦略会議
運営委員会	各職種の主任以上及び代表者	1回/月	①業務上の問題点の検討及び改善 ②月例決算状況の把握
安全・衛生委員会	施設長（医師），事務長，看護職，介護職，療法職，支援相談員，管理栄養士，介護支援専門員	1回/月	安全衛生に関する検討会 ①事故防止対策 ②感染症対策 ③身体拘束廃止 ④苦情クレーム対応 ⑤内部・外部評価の実施 ⑥問題点の把握及び改善
職員安全・衛生委員会	産業医，各係長以上	1回/月	職員の健康管理対策

ターミナルケア委員会	医師, 事務長, 各係長 以上及びターミナル 委員	随時	ターミナルケアの向上及びターミナルケア対象者への対応に関する会議
新聞広報委員会	施設長, 事務長, 各職 種代表者	1回/月	緑寿荘だより(広報誌)やホームページでの広報活動の企画・原案作成及びホームページの運営
看護介護課会議	①リーダー・主任会議	1回/月	①業務上の問題点の改善要望等の把握
	②各種委員会会議	1回/月	②リスク・衛生・ケアサービス・レクリエーション・記録等の各グループ担当によるサービス向上を目的とした検討会
	③看護会議	1回/月	③看護職の業務上の問題点の検討及び改善
	④栄養管理会議	1回/月	④施設での給食提供に関する改善検討
	⑤R4プロジェクト会議	1回/月	⑤R4システム運用に関する検討
サービス担当者会議	医師, 事務長, 看護職, 介護職, 療法職, 支援相談員, 管理栄養士, 介護支援専門員	1回/週	①利用予定者の入所判定・退所判定 ②入所者の定期的なケアサービスの検討
ケア提供改善プロジェクト会議	施設長, 事務長, 各職種代表者	1回/週	ケア提供全体の改善及び必要な修繕・物品購入等の検討実施
ベッドコントロール会議	各職種代表者	1回/週	ご利用予定者様のベッドコントロール会議
通所事業所会議	①担当者会議	随時	①ご利用者様へのサービス提供内容を確認するため, ご本人・ご家族・担当ケアマネージャー等が集まり適切なサービスを提供しているか確認するもの
	②業務会議	1回/隔週	②通所業務のサービス向上を

	③運営会議 ④ケア会議 ⑤運転会議	1回/隔週 1回/週 1回/月	目的に行うもの ③利用率の向上を図るための運営会議 ④ご利用者のケアプランの見直し等を行うもの ⑤送迎を無事故で行うための安全確認会議
地域包括月例会議	センター長, センター職員	1回/月	毎月の事業の進捗状況の確認及び翌月の事業の計画
居宅介護支援事業所月例会議	管理者, 主任介護支援専門員, 介護支援専門員	1回/月	①業務状況の確認 ②毎月の給付管理状況の確認及びご利用者のケアプランの確認
各事業所連携会議	各事業所責任者	1回/月	施設・地域包括・居宅事業所の連携強化のための会議

7 広報誌「緑寿荘だより」内容及び内部（自己）・外部（ご利用者様）評価の公開

発行月	主な内容	発行部数
春号 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度緑寿荘の取組み</li> <li>平成29年度通所リハビリテーション満足度調査（外部評価）</li> <li>通所リハビリテーション 音楽療法実施紹介</li> <li>超強化型施設10項目について</li> <li>寄付金報告</li> </ul>	500部
夏号 (8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設行事紹介</li> <li>入所ご利用者様による食事満足度調査集計報告（外部評価）</li> <li>苦情クレームレポート集計報告（外部評価）</li> <li>新スタッフ紹介</li> <li>平成29年度緑寿荘からの転院症例（内部評価）</li> <li>寄付金報告</li> </ul>	500部
秋号 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設行事紹介</li> <li>全国老人保健施設大会研究発表報告</li> <li>家族会アンケート報告（外部評価）</li> <li>夏まつり参加者アンケート報告（外部評価）</li> <li>認知症短期集中リハビリ評価表集計報告（内部評価）</li> <li>寄付金報告</li> </ul>	500部

新春号 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長新年挨拶及び抱負</li> <li>・家族会アンケート報告 (外部評価)</li> <li>・平成29年度アクシデント発生集計報告 (内部評価)</li> <li>・平成29年度苦情クレーム集計報告 (外部評価)</li> <li>・家族会開催報告</li> <li>・人事異動職員及び新人職員紹介</li> <li>・冬まつり実施報告</li> <li>・寄付金報告</li> </ul>	500部
-------------	--	------

## 8 高齢者の公衆衛生に関する指導相談事業等

### (1) 「緑寿荘セミナー」の開催

健康的で、できる限り要介護状態にならないために、当施設の施設長（医師）が中心となって健康維持に関する各種講座を開催し、地域高齢者へ健康維持の啓発活動を下記のとおり行いました。

実施日	テーマ	実施会場	参加人数
第1回緑寿荘セミナー 平成30年8月5日	認知症を考える	取手市介護老人保健施設緑寿荘	103名
第2回緑寿荘セミナー 平成30年12月16日	施設運営における課題	取手市介護老人保健施設緑寿荘	99名
合計			202名

### (2) 「きらり笑顔教室」の開催

取手市からの介護予防受託事業で、運動機能の向上、栄養改善、閉じこもりの予防、口腔ケア等に関する講習会を専門家（医師・管理栄養士・療法士等）の指導のもと実施しました。

実施月	テーマ	実施会場	参加人数
6月度 (1回開催)	・体力測定	福祉交流センター	21名
7月度 (2回開催)	・認知症予防 ・運動機能向上	福祉交流センター	44名
8月度 (2回開催)	・栄養（低栄養・脱水） ・口腔機能、口腔ケア	福祉交流センター	35名
9月度 (2回開催)	・認知症予防 ・運動機能向上	福祉交流センター	36名
10月度 (2回開催)	・閉じこもり、うつ ・認知症予防	福祉交流センター	37名

11月度 (1回開催)	・体力測定	福祉交流センター	19名
合計			192名

(3) 「元気ハツラツ教室（運動機能維持向上教室）」の開催

取手市からの介護予防受託事業で、主に運動機能の向上を目的として専門家（療法士）の指導のもと実施しました。

実施月	実施回数	実施会場	参加人数
4月度	3回	福祉交流センター	37名
5月度	4回	〃	50名
6月度	4回	〃	54名
7月度	4回	〃	40名
8月度	3回	〃	38名
9月度	4回	〃	42名
10月度	4回	〃	47名
11月度	4回	〃	45名
12月度	4回	〃	41名
1月度	4回	〃	48名
2月度	3回	〃	39名
3月度	4回	〃	54名
合計	45回		535名

(4) 「認知症予防セミナー」の開催

取手市民向けに認知症理解の啓発活動と認知症予防のための学習及び運動リハビリを実施しました。

実施日	内容	参加人数
平成30年 4月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防講義</li> <li>・脳の健康診断（ファイブコグによる個別認知機能検査の実施）</li> <li>・オリエンテーション</li> </ul>	32名
平成30年 6月 8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防運動療法</li> <li>・記憶に関するグループ学習</li> </ul>	28名
平成30年 8月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防運動療法</li> <li>・オレンジカフェ</li> </ul>	24名
平成30年 9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防運動療法</li> </ul>	25名



	・ 注意に関するグループ学習	
平成30年10月19日	・ 認知症予防運動療法 ・ 思考に関するグループ学習	24名
平成30年12月14日	・ 認知症予防運動療法 ・ オレンジカフェ	24名
平成31年 1月25日	・ 認知症予防運動療法 ・ 視空間認知に関するグループ学習	21名
平成31年 3月 8日	・ 認知症予防講義 ・ 脳の健康診断（ファイブコグによる個別認知機能評価） ・ 修了式	21名
合計		199名

#### (5) 介護教室の開催

自宅で介護を行うご家族を対象に、認知症予防に関する講義や介護技術を実践的に体験する教室を開催しました。

実施日	内容	参加人数
平成30年 9月 9日	「日常生活の基礎となる動作」 ・ 歩行，立位，座位での活動 ・ 寝返り，起き上がり，移乗動作の介助 「住環境シリーズ」 ①安全な移動環境を考える	10名
平成30年11月18日	「栄養・食事・口腔ケア」 ・ 施設長講演 ・ 高齢者の嚥下の特徴と注意点 ・ 嚥下しやすい食事と試食 ・ 口腔ケアの基本 「住環境シリーズ」 ②食事環境や食事道具について	15名
平成31年 1月20日	「排泄ケア」 ・ ベッド上でのオムツ交換の仕方 ・ トイレでの排泄介助の仕方 「住環境シリーズ」 ③使いやすいトイレ環境について	13名

平成31年 3月17日	「認知症」 ・施設長講演 ・認知症の症状と対応の仕方について 「住環境シリーズ」 ④安全な入浴環境について	19名
合計		57名

#### (6) 生涯学習出前講座

実施日	テーマ	実施場所	参加人数
平成30年6月14日	老後の健康について	白山公民館	22名

## II その他の事業

### 居宅介護支援事業

高齢者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して、支援を行ってまいりました。

#### (1) 多様化する居宅介護支援事業所としての各種対応

①高齢者福祉サービスの相談窓口として、各種サービスの紹介・取次ぎ申請代行等を行ってまいりました。

②毎週水曜日に各介護支援専門員のケース情報を共有し、いつでもバックアップを行えるチームケアの体制を構築してまいりました。

③24時間の相談体制により、ご利用者様が安心して在宅での生活が継続できるようにしてまいりました。

#### (2) 多様なニーズを持つご利用者様に対応できる介護支援専門員の育成

①計画的な事業所内研修の実施により、個々の知識と援助技術を深めてまいりました。

②各種研修会等へ積極的に参加し、地域の介護支援情報の把握・介護保険制度の変化等の情報を収集し、適切な援助を行えるようにしてまいりました。

### Ⅲ 理事会、評議員会等に関すること

会議名	日時	場所等	協議事項
監査	H30.5.7 PM2:00より	緑寿荘会議室	○平成29年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算監査を実施
理事会 (第1回)	H30.5.9 PM7:00より	緑寿荘会議室	○平成29年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業報告及び決算書類等の承認について(原案可決) ○平成30年度第1回評議員会の開催について(原案可決)
理事会 (第2回)	H30.11.19 PM7:00より	緑寿荘会議室	○平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団半期の決算状況について(報告) ○評議員の辞任について(報告) ○平成30年度第2回評議員会の開催について(原案可決)
理事会 (第3回)	H31.3.8 PM7:00より	緑寿荘会議室	○平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画について(原案可決) ○平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について(原案可決) ○平成30年度第3回評議員会の開催について(原案可決)
評議員会 (第1回)	H30.5.29 PM6:00より	緑寿荘会議室	○平成29年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業報告について(報告) ○平成29年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算書類等の承認について(原案可決) ○理事の辞任について(報告) ○理事の選任について(原案可決)
評議員会 (第2回)	H30.11.27 PM6:00より	緑寿荘会議室	○平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団半期の決算状況について(報告) ○評議員の辞任について(報告) ○評議員の選任について(原案可決)
評議員会 (第3回)	H31.3.13 PM6:00より	緑寿荘会議室	○平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画の承認について(原案可決) ○平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医

			療事業団収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について (原案可決)
--	--	--	---

IV 会計に関すること

<介護老人保健施設会計>

建物更新及び設備の維持のための財源の積立て及び管理

<地域包括支援センター会計>

地域包括支援センターに関する会計管理

<居宅介護支援会計>

居宅介護支援事業所に関する会計管理

<法人会計>

理事会，評議員会，公益法人の運営管理

平成30年度第3回定例会

# 平成30年度緑寿荘利用状況

別紙1

月	利用形態	運営日数	延べ利用者数	日平均利用者数	入所者数	退所者数	通所(平日)稼働率	通所(土)稼働率	入所稼働率(短期含)	在宅復帰率	入所の平均年齢	利用者内訳							
												取手市民			その他				
												男	女	計	%	男	女	計	%
4月	入所	30	2,300	76.7	9	8						14	46	60	73.2%	4	18	22	26.8%
	ショート	30	193	6.4	43	40	63.5%	66.3%	83.1%	62.5%	84.0	7	14	21	80.8%	0	5	5	19.2%
	通所(平日)	21	667	31.8								30	43	73	96.1%	0	3	3	3.9%
	通所(土)	4	53	13.3								51	103	154	83.7%	4	26	30	16.3%
	合計											14	46	60	73.2%	5	17	22	26.8%
5月	入所	31	2,303	74.3	8	11						9	13	22	84.6%	1	3	4	15.4%
	ショート	31	233	7.5	45	44	62.6%	73.8%	81.8%	63.6%	84.6	30	47	77	93.9%	0	5	5	6.1%
	通所(平日)	23	720	31.3								53	106	159	83.7%	6	25	31	16.3%
	通所(土)	4	59	14.8								14	48	62	72.1%	5	19	24	27.9%
	合計											5	10	15	88.2%	0	2	2	11.8%
6月	入所	30	2,376	79.2	14	7						30	48	78	92.9%	0	6	6	7.1%
	ショート	30	178	5.9	30	35	65.4%	69.0%	85.1%	71.4%	84.6	49	106	155	82.9%	5	27	32	17.1%
	通所(平日)	21	687	32.7								18	50	68	75.6%	4	18	22	24.4%
	通所(土)	5	69	13.8								3	8	11	84.6%	0	2	2	15.4%
	合計											29	45	74	92.5%	0	6	6	7.5%
7月	入所	31	2,546	82.1	10	9						50	103	153	83.6%	4	26	30	16.4%
	ショート	31	135	4.4	26	25	65.0%	77.5%	86.5%	66.7%	84.4	18	47	65	73.0%	6	18	24	27.0%
	通所(平日)	22	715	32.5								7	10	17	89.5%	0	2	2	10.5%
	通所(土)	4	62	15.5								31	49	80	93.0%	0	6	6	7.0%
	合計											56	106	162	83.5%	6	26	32	16.5%
8月	入所	30	2,403	80.1	9	10						20	45	65	76.5%	6	14	20	23.5%
	ショート	30	195	6.5	32	32	64.0%	69.0%	86.6%	70.0%	84.6	5	10	15	75.0%	0	5	5	25.0%
	通所(平日)	20	640	32.0								32	49	81	94.2%	0	5	5	5.8%
	通所(土)	5	69	13.8								57	104	161	84.3%	6	24	30	15.7%
	合計											17	44	61	76.3%	6	13	19	23.8%
9月	入所	31	2,413	77.8	6	12						7	9	16	72.7%	0	6	6	27.3%
	ショート	31	214	6.9	38	37	66.1%	73.8%	84.7%	58.3%	84.6	34	49	83	96.5%	0	3	3	3.5%
	通所(平日)	23	760	33.0								58	102	160	85.1%	6	22	28	14.9%
	通所(土)	4	59	14.8															
	合計																		
10月	入所	31	2,413	77.8	6	12													
	ショート	31	214	6.9	38	37													
	通所(平日)	23	760	33.0															
	通所(土)	4	59	14.8															
	合計																		

平成30年度緑寿荘利用状況

月	利用形態	運営日数	延べ利用者数	日平均利用者数	入所者数	退所者数	通所(平日)稼働率	通所(土)稼働率	入所稼働率(短期含)	在宅復帰率	入所の平均年齢	利用者内訳								
												取手市民			その他					
												男	女	計	%	男	女	計	%	
11月	入所	30	2,147	71.6	14	10						16	46	62	74.7%	7	14	21	25.3%	
	シヨート	30	257	8.6	41	43	65.8%	73.8%	80.1%	70.0%	85.2		9	8	17	85.0%	0	3	3	15.0%
	通所(平日)	21	691	32.9									32	50	82	95.3%	0	4	4	4.7%
	通所(土)	4	59	14.8									57	104	161	85.2%	7	21	28	14.8%
	合計		2,427	78.3	11	9						17	45	62	75.6%	7	13	20	24.4%	
12月	入所	31	185	6.0	29	30	65.4%	62.0%	84.3%	77.8%	84.6		4	12	16	88.9%	0	2	2	11.1%
	シヨート	20	654	32.7									37	46	83	94.3%	0	5	5	5.7%
	通所(平日)	5	62	12.4									58	103	161	85.6%	7	20	27	14.4%
	通所(土)	4	51	12.8									15	54	69	78.4%	7	12	19	21.6%
	合計		2,475	79.8	14	7						8	9	17	81.0%	0	4	4	19.0%	
1月	入所	31	190	6.1	34	32	65.2%	63.8%	86.0%	100.0%	84.3		30	47	77	95.1%	0	4	4	4.9%
	シヨート	19	619	32.6									53	110	163	85.8%	7	20	27	14.2%
	通所(平日)	4	51	12.8									16	51	67	79.8%	6	11	17	20.2%
	通所(土)	4	46	11.5									8	10	18	85.7%	0	3	3	14.3%
	合計		2,281	81.5	6	7						30	46	76	91.6%	1	6	7	8.4%	
2月	入所	28	159	5.7	32	33	66.1%	57.5%	87.1%	71.4%	84.5		54	107	161	85.6%	7	20	27	14.4%
	シヨート	19	628	33.1									16	54	70	80.5%	5	12	17	19.5%
	通所(平日)	4	46	11.5									8	11	19	95.0%	0	1	1	5.0%
	通所(土)	4	64	12.8									31	48	79	92.9%	1	5	6	7.1%
	合計		2,536	81.8	10	10						55	113	168	87.5%	6	18	24	12.5%	
3月	入所	31	143	4.6	32	32	68.0%	64.0%	86.4%	80.0%	84.7		195	576	771		68	179	247	
	シヨート	21	714	34.0									80	124	204		1	38	39	
	通所(平日)	5	64	12.8									376	567	943		2	58	60	
	通所(土)	5	701										651	1267	1918	84.7%	71	275	346	15.3%
	合計		28,779		122	109						16.3	48.0	64.3	75.7%	5.7	14.9	20.6	24.3%	
年間延べ数	入所	304	1858	6.1	34.2	34.2	65.1%	67.5%	85.0%	70.6%	84.6		6.7	10.3	17.0	84.0%	0.1	3.2	3.3	16.0%
	シヨート	210	683.4	32.5									31.3	47.3	78.6	94.0%	0.2	4.8	5.0	6.0%
	通所(平日)	4.3	58.4	13.5									54.3	105.6	159.8	84.7%	5.9	22.9	28.8	15.3%
	通所(土)																			
	合計																			

平成30年度 居宅介護支援事業所緑寿荘 相談実績及び介護保険利用者実績

平成31年3月末日現在 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	222	251	264	236	238	240	224	227	198	204	234	227	2,765
来所	6	7	11	14	12	12	16	15	7	7	4	17	128
電話	167	199	195	173	184	205	188	198	175	231	196	202	2,313
その他	81	79	57	59	65	107	76	70	57	54	80	50	835
合計	476	536	527	482	499	564	504	510	437	496	514	496	6,041
支援1	22	27	24	25	22	19	16	16	15	15	16	17	234
支援2	17	17	18	20	24	28	27	27	27	26	25	27	283
事業対象者	7	6	6	7	6	6	6	7	7	7	7	6	78
計	46	50	48	52	52	53	49	50	49	48	48	50	595
介護度1	55	59	68	72	72	76	71	71	79	80	79	87	869
介護度2	37	40	40	39	38	33	33	32	33	33	33	34	425
介護度3	20	19	18	19	21	19	18	19	16	13	14	18	214
介護度4	13	10	15	11	11	11	13	13	12	9	8	9	135
介護度5	9	9	7	7	6	6	5	6	6	8	8	8	85
計	134	137	148	148	148	145	140	141	146	143	142	156	1,728
合計	180	187	196	200	200	198	189	191	195	191	190	206	2,323

# 平成30年度 地域包括支援センター相談登録者数

人数	月												(単位:人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
前月登録数	1,687	1,709	1,742	1,899	1,909	1,935	1,963	1,979	1,994	2,012	2,032	2,064	
新規相談者数	22	33	157	10	26	28	16	15	18	20	32	25	
登録者合計	1,709	1,742	1,899	1,909	1,935	1,963	1,979	1,994	2,012	2,032	2,064	2,089	

# 平成30年度 地域包括支援センター研修実績

(単位:回)

研修内容	参加回数
地域ケアシステム関係	7
認知症関係	7
権利擁護関係	11
介護保険・福祉制度関係	28
ケアマネジメント等関係	27
合計	80



# 平成30年度 地域包括支援センター相談業務年間実績報告書

(単位:人)

項目	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
相談件数	73	196	107	113	94	81	79	92	91	124	171	193	1,414
来所	420	519	603	610	533	416	600	535	587	518	768	781	6,890
電話	249	326	360	279	279	300	466	333	306	273	372	327	3,870
訪問	742	1,041	1,070	1,002	906	797	1,145	960	984	915	1,311	1,301	12,174
合計	127	209	173	139	162	144	283	222	206	202	257	244	2,368
本人	135	217	203	193	206	145	222	178	151	191	264	226	2,331
家族	184	269	307	294	290	244	251	261	317	252	390	330	3,389
介護支援専門員	86	89	71	108	57	54	90	34	97	62	109	156	1,013
介護サービス事業所職員	72	106	114	106	77	90	130	106	112	93	133	162	1,301
行政関係者	81	67	147	102	68	68	101	119	42	66	78	127	1,066
関係機関	46	61	32	36	38	37	53	28	38	29	50	26	474
民生委員	11	23	23	24	8	15	15	12	21	20	30	30	232
近隣・知人	742	1,041	1,070	1,002	906	797	1,145	960	984	915	1,311	1,301	12,174
合計	39	37	38	17	11	23	67	77	137	123	124	161	854
第一号介護予防支援事業	62	73	87	139	58	65	195	110	67	56	121	107	1,140
虐待・権利擁護	184	245	220	239	195	201	204	208	266	189	259	270	2,680
包括的・継続的ケアマネジメント	35	61	48	55	31	21	44	31	32	42	90	41	531
認知症に関すること	202	272	321	261	274	235	233	240	218	210	342	360	3,168
介護保険に関すること	206	339	336	276	317	225	350	247	244	290	360	290	3,480
高齢福祉に関すること	14	14	20	15	20	27	52	47	20	5	15	72	321
その他	742	1,041	1,070	1,002	906	797	1,145	960	984	915	1,311	1,301	12,174
合計													

平成30年度

決算報告書

自 平成 30年 4月 1日

至 平成 31年 3月31日

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

介護老人保健施設会計  
地域包括支援センター会計  
居宅介護支援事業所会計  
法人会

貸借対照表  
平成31年3月31日現在  
(総括表)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	636,276	587,271	49,005
普通預貯金	97,110,361	48,645,765	48,464,596
定期預貯金	5,558,178	5,558,178	0
立替金	603,453	587,794	15,659
医業未収金	87,486,302	81,596,754	5,889,548
未収金	7,564,903	8,248,471	△ 683,568
前払金	150,000	150,000	0
貸倒引当金	△ 554,863	△ 522,403	△ 32,460
他会計へ配賦	56,111,321	55,227,025	884,296
流動資産合計	254,665,931	200,078,855	54,587,076
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預貯金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
建物更新引当預貯金	367,608,176	389,896,136	△ 22,287,960
建物設備維持引当預貯金	130,779,898	135,531,898	△ 4,752,000
退職給付引当預貯金	20,024,877	20,021,849	3,028
建物	1,054,373,231	1,085,866,443	△ 31,493,212
特定資産合計	1,572,786,182	1,631,316,326	△ 58,530,144
(3) その他の固定資産			
構築物	2	2	0
什器備品	3,382,624	3,872,502	△ 489,878
車両	7,385,203	10,303,693	△ 2,918,490
医療用器械	20,135,141	20,345,975	△ 210,834
その他の器械	440,648	586,449	△ 145,801
施設利用権	893,409	1,142,730	△ 249,321
ソフトウェア	2	2	0
長期貸付金	99,920	110,000	△ 10,080
その他の固定資産合計	32,336,949	36,361,353	△ 4,024,404
固定資産合計	1,640,123,131	1,702,677,679	△ 62,554,548
資産合計	1,894,789,062	1,902,756,534	△ 7,967,472
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	25,297,137	28,256,804	△ 2,959,667
仮受金	23,760	0	23,760
賞与引当金	24,824,672	20,994,944	3,829,728
職員預り金	1,480,465	1,339,612	140,853
法人税等充当金	534,300	132,300	402,000
他会計から配賦	56,111,321	55,227,025	884,296
流動負債合計	108,271,655	105,950,685	2,320,970
2. 固定負債			
退職給付引当金	64,070,527	50,290,059	13,780,468
固定負債合計	64,070,527	50,290,059	13,780,468
負債合計	172,342,182	156,240,744	16,101,438
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	304,380,569	317,171,079	△ 12,790,510
寄付金	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産合計	339,380,569	352,171,079	△ 12,790,510
(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(304,380,569)	(317,171,079)	(△12,790,510)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,268,405,613)	(1,314,145,247)	(15,739,634)
一般正味財産合計	1,383,066,311	1,394,344,711	△ 11,278,400
正味財産合計	1,722,446,880	1,746,515,790	△ 24,068,910
負債及び正味財産合計	1,894,789,062	1,902,756,534	△ 7,967,472

貸借対照表 (内訳表)  
平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	介護老人保健施設会計	地域包括支援センター会計	収益事業	その他事業 居宅介護支援事業所会計			
<b>I 資産の部</b>							
1. 流動資産							
現金	433,308	202,968	0	0	0	0	636,276
普通預貯金	51,306,227	1,410,127	0	10,185,811	34,208,196	0	97,110,361
定期預貯金	5,558,178	0	0	0	0	0	5,558,178
立替金	6,242,386	0	0	0	0	△ 5,638,933	603,453
医業未収金	82,569,008	0	0	4,917,294	0	0	87,486,302
未収金	369,772	6,502,246	0	692,885	0	0	7,564,903
前払金	0	150,000	0	0	0	0	150,000
仮払金	0	0	0	0	0	0	0
短期貸付金	17,875,974	0	0	0	0	△ 17,875,974	0
貸倒引当金	△ 554,863	0	0	0	0	0	△ 554,863
他会計へ配賦	32,333,291	23,778,030	0	0	0	0	56,111,321
流動資産合計	196,133,281	32,043,371	0	15,795,990	34,208,196	△ 23,514,907	254,665,931
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
基本財産引当預貯金	35,000,000	0	0	0	0	0	35,000,000
基本財産合計	35,000,000	0	0	0	0	0	35,000,000
(2) 特定資産							
建物更新引当預貯金	361,358,838	0	0	5,881,730	367,608	0	367,608,176
建物設備維持引当預貯金	130,779,898	0	0	0	0	0	130,779,898
退職給付引当預貯金	20,024,877	0	0	0	0	0	20,024,877
建物	1,036,448,887	0	0	16,869,971	1,054,373	0	1,054,373,231
特定資産合計	1,548,612,500	0	0	22,751,701	1,421,981	0	1,572,786,182
(3) その他の固定資産							
構築物	2	0	0	0	0	0	2
什器備品	3,261,663	1	0	120,960	0	0	3,382,624
車両	7,385,202	0	0	1	0	0	7,385,203
医療用器械	20,135,141	0	0	0	0	0	20,135,141
その他の器械	440,648	0	0	0	0	0	440,648
施設利用権	893,409	0	0	0	0	0	893,409
ソフトウエア	2	0	0	0	0	0	2
長期貸付金	99,920	0	0	0	0	0	99,920
その他の固定資産合計	32,215,987	1	0	120,961	0	0	32,336,949
固定資産合計	1,615,828,487	1	0	22,872,662	1,421,981	0	1,640,123,131
資産合計	1,811,961,768	32,043,372	0	38,668,652	35,630,177	△ 23,514,907	1,894,789,062
<b>II 負債の部</b>							
1. 流動負債							
未払金	22,660,455	7,655,472	0	609,790	10,353	△ 5,638,933	25,297,137
仮受金	23,760	0	0	0	0	0	23,760
賞与引当金	21,198,404	1,799,412	0	1,814,172	12,684	0	24,824,672
職員預り金	1,469,815	0	0	0	10,650	0	1,480,465
短期借入金	0	0	0	13,951,701	3,924,273	△ 17,875,974	0
法人税等充当金	0	0	0	534,300	0	0	534,300
他会計から配賦	24,156,926	25,326,723	0	4,901,565	1,726,107	0	56,111,321
流動負債合計	69,509,360	34,781,607	0	21,811,528	5,684,067	△ 23,514,907	108,271,655
2. 固定負債							
退職給付引当金	62,694,379	1,183,500	0	0	192,648	0	64,070,527
固定負債合計	62,694,379	1,183,500	0	0	192,648	0	64,070,527
負債合計	132,203,739	35,965,107	0	21,811,528	5,876,715	△ 23,514,907	172,342,182
<b>III 正味財産の部</b>							
1. 指定正味財産							
地方公共団体補助金	304,380,569	0	0	0	0	0	304,380,569
寄付金	35,000,000	0	0	0	0	0	35,000,000
指定正味財産合計	339,380,569	0	0	0	0	0	339,380,569
(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(35,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(304,380,569)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(304,380,569)
2. 一般正味財産							
(うち特定資産への充当額)	1,340,377,460	△ 3,921,735	0	16,857,124	29,753,462	0	1,383,066,311
一般正味財産合計	1,268,405,613	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	1,268,405,613
正味財産合計	1,679,758,029	△ 3,921,735	0	16,857,124	29,753,462	0	1,722,446,880
負債及び正味財産合計	1,811,961,768	32,043,372	0	38,668,652	35,630,177	△ 23,514,907	1,894,789,062

# 正味財産増減計算書

( 総 括 表 )

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,500	3,500	0
基本財産利息	3,500	3,500	0
特定資産運用益	48,416	73,826	△ 25,410
事業収益	611,579,712	594,576,133	17,003,579
介護保健施設介護料収益	355,782,771	336,764,098	19,018,673
施設介護報酬収益	316,573,290	301,913,184	14,660,106
施設利用者負担金収益	39,209,481	34,850,914	4,358,567
居宅介護料収益	124,390,083	131,147,079	△ 6,756,996
居宅介護報酬収益	110,204,285	116,793,626	△ 6,589,341
居宅利用者負担金収益	14,185,798	14,353,453	△ 167,655
居宅介護支援料収益	28,765,406	20,463,950	8,301,456
介護予防収益	632,584	1,038,863	△ 406,279
利用者等利用料収益	102,008,868	105,162,143	△ 3,153,275
介護保険施設利用料収益	21,457,458	21,058,979	398,479
居宅介護サービス利用料収益	4,304,540	5,048,225	△ 743,685
その他の利用料収益	320,000	340,329	△ 20,329
食費収益	45,736,670	47,798,510	△ 2,061,840
居住費収益	30,190,200	30,916,100	△ 725,900
受取補助金等	43,029,890	40,787,853	2,242,037
受取市補助金	0	440,000	△ 440,000
業務委託金	29,731,047	26,407,343	3,323,704
受取地方補助金	508,333	1,150,000	△ 641,667
受取補助金振替額	12,790,510	12,790,510	0
雑収益	948,238	1,815,340	△ 867,102
受取利息収益	3,065	1,209	1,856
雑収益	945,173	1,814,131	△ 868,958
経常収益計(A)	655,609,756	637,256,652	18,353,104
(2) 経常費用			
事業費	664,790,706	634,396,561	30,394,145
役員報酬	360,000	300,000	60,000
給与手当	304,455,000	280,274,564	24,180,436
臨時雇賃金	64,866,420	67,214,571	△ 2,348,151
退職給付費用	24,224,584	18,634,424	5,590,160
法定福利費	53,953,938	50,790,740	3,163,198
医薬品費	4,956,023	5,656,384	△ 700,361
施設療養材料費	742,152	1,079,348	△ 337,196
その他の材料費	13,274,848	12,000,294	1,274,554
介護給付費減免	8,859,880	8,724,378	135,502
施設消耗器具備品費	1,995,684	1,259,226	736,458
福利厚生費	2,083,422	2,051,215	32,207
旅費交通費	205,020	364,654	△ 159,634
職員被服費	904,038	1,080,526	△ 176,488
通信費	1,677,797	1,789,199	△ 111,402
消耗品費	5,136,105	4,330,571	805,534
消耗器具備品費	455,153	1,093,126	△ 637,973
会議費	10,000	0	10,000
車両費	2,110,472	2,240,481	△ 130,009
接待交際費	2,127	0	2,127
光熱水費	23,273,864	23,365,631	△ 91,767
修繕費	7,782,106	5,783,994	1,998,112
印刷製本費	60,480	230,796	△ 170,316
賃借料	18,062,487	17,981,500	80,987
保険料	1,044,949	1,115,399	△ 70,450
租税公課	105,500	319,500	△ 214,000

# 正味財産増減計算書

( 総 括 表 )

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
雑費	1,158,089	2,391,540	△ 1,233,451
委託費	69,513,323	72,010,740	△ 2,497,417
研修費	854,961	855,620	△ 659
減価償却費	52,519,824	51,011,027	1,508,797
雑損	110,000	467,177	△ 357,177
貸倒引当金繰入	554,863	522,403	32,460
貸倒引当金戻入	△ 522,403	△ 542,467	20,064
管理費	1,563,149	1,543,737	19,412
役員報酬	250,000	235,000	15,000
給与手当	133,508	129,181	4,327
退職給付費用	9,884	12,227	△ 2,343
法定福利費	19,640	19,242	398
旅費交通費	84,000	66,000	18,000
通信費	0	8,899	△ 8,899
光熱水費	22,657	22,748	△ 91
修繕費	0	0	0
保険料	281	281	0
租税公課	2,000	1,200	800
雑費	0	2,600	△ 2,600
委託費	401,532	452,498	△ 50,966
会議費	47,208	29,605	17,603
接待交際費	146,238	142,639	3,599
諸会費	341,790	355,790	△ 14,000
減価償却費	104,411	65,827	38,584
経常費用計 (B)	666,353,855	635,940,298	30,413,557
当期経常増減額 (A-B)	△ 10,744,099	1,316,354	△ 12,060,453
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	1	5	△ 4
固定資産除去損	1	5	△ 4
他会計振替額	0	0	0
法人税等充当額	534,300	132,300	402,000
当期一般正味財産増減額	△ 11,278,400	1,184,049	△ 12,462,449
一般正味財産期首残高	1,394,344,711	1,393,160,662	1,184,049
一般正味財産期末残高	1,383,066,311	1,394,344,711	△ 11,278,400
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 12,790,510	△ 12,790,510	0
当期指定正味財産増減額	△ 12,790,510	△ 12,790,510	0
指定正味財産期首残高	352,171,079	364,961,589	△ 12,790,510
指定正味財産期末残高	339,380,569	352,171,079	△ 12,790,510
III 正味財産期末残高	1,722,446,880	1,746,515,790	△ 24,068,910

正味財産増減計算書（内訳表）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	介護老人保健施設会計	地域包括支援センター会計	収益事業	その他事業			
				居宅介護支援事業所会計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	3,500	0	3,500
基本財産利息	0	0	0	0	3,500	0	3,500
特定資産運用益	48,416	0	0	0	0	0	48,416
事業収益	582,181,722	632,584	0	28,765,406	0	0	611,579,712
介護保健施設介護料収益	355,782,771	0	0	0	0	0	355,782,771
施設介護報酬収益	316,573,290	0	0	0	0	0	316,573,290
施設利用者負担金収益	39,209,481	0	0	0	0	0	39,209,481
居宅介護料収益	124,390,083	0	0	0	0	0	124,390,083
居宅介護報酬収益	110,204,285	0	0	0	0	0	110,204,285
居宅利用者負担金収益	14,185,798	0	0	0	0	0	14,185,798
居宅介護支援料収益	0	0	0	28,765,406	0	0	28,765,406
介護予防収益	0	632,584	0	0	0	0	632,584
利用者等利用料収益	102,008,868	0	0	0	0	0	102,008,868
介護保険施設利用料収益	21,457,458	0	0	0	0	0	21,457,458
居宅介護サービス利用料収益	4,304,540	0	0	0	0	0	4,304,540
その他の利用料収益	320,000	0	0	0	0	0	320,000
食費収益	45,736,670	0	0	0	0	0	45,736,670
居住費収益	30,190,200	0	0	0	0	0	30,190,200
受取補助金等	14,686,843	25,507,080	0	2,835,967	0	0	43,029,890
業務委託金	1,388,000	25,507,080	0	2,835,967	0	0	29,731,047
受取地方補助金	508,333	0	0	0	0	0	508,333
受取補助金振替額	12,790,510	0	0	0	0	0	12,790,510
雑収益	643,480	16,029	0	191,229	97,500	0	948,238
受取利息収益	3,027	29	0	9	0	0	3,065
雑収益	640,453	16,000	0	191,220	97,500	0	945,173
経常収益計(A)	597,560,461	26,155,693	0	31,792,602	101,000	0	655,609,756
(2) 経常費用							
事業費	610,712,043	27,377,161	0	26,701,502	0	0	664,790,706
役員報酬	349,200	5,400	0	5,400	0	0	360,000
給与手当	273,839,988	15,534,692	0	15,080,320	0	0	304,455,000
臨時雇賃金	57,935,995	3,779,330	0	3,151,095	0	0	64,866,420
退職給付費用	23,026,084	808,500	0	390,000	0	0	24,224,584
法定福利費	48,947,816	2,334,866	0	2,671,256	0	0	53,953,938
医薬品費	4,956,023	0	0	0	0	0	4,956,023
施設療養材料費	742,152	0	0	0	0	0	742,152
その他の材料費	13,274,848	0	0	0	0	0	13,274,848
介護給付費減免	8,859,880	0	0	0	0	0	8,859,880
施設消耗器具備品費	1,995,684	0	0	0	0	0	1,995,684
福利厚生費	2,014,516	36,752	0	32,154	0	0	2,083,422
旅費交通費	160,590	34,530	0	9,900	0	0	205,020
職員被服費	839,575	35,792	0	28,671	0	0	904,038
通信費	973,531	378,929	0	325,337	0	0	1,677,797
消耗品費	4,590,614	360,569	0	184,922	0	0	5,136,105
消耗器具備品費	315,575	51,018	0	88,560	0	0	455,153
会議費	0	10,000	0	0	0	0	10,000
車両費	1,712,836	107,270	0	290,366	0	0	2,110,472
接待交際費	0	2,127	0	0	0	0	2,127
光熱水費	22,311,338	600,000	0	362,526	0	0	23,273,864
修繕費	7,671,946	0	0	110,160	0	0	7,782,106
印刷製本費	60,480	0	0	0	0	0	60,480
賃借料	13,321,155	2,746,512	0	1,994,820	0	0	18,062,487
保険料	820,490	103,479	0	120,980	0	0	1,044,949

正味財産増減計算書（内訳表）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	介護老人保健 施設会計	地域包括支援 センター会計	収益事業	その他事業			
				居宅介護支援 事業所会計			
租税公課	52,100	21,200	0	32,200	0	0	105,500
雑費	1,042,559	104,094	0	11,436	0	0	1,158,089
委託費	69,107,503	56,329	0	349,491	0	0	69,513,323
研修費	585,650	128,075	0	141,236	0	0	854,961
減価償却費	51,061,455	137,697	0	1,320,672	0	0	52,519,824
雑損	110,000	0	0	0	0	0	110,000
貸倒引当金繰入	554,863	0	0	0	0	0	554,863
貸倒引当金戻入	△ 522,403	0	0	0	0	0	△ 522,403
管理費	0	0	0	0	1,563,149	0	1,563,149
役員報酬	0	0	0	0	250,000	0	250,000
給与手当	0	0	0	0	133,508	0	133,508
退職給付費用	0	0	0	0	9,884	0	9,884
法定福利費	0	0	0	0	19,640	0	19,640
旅費交通費	0	0	0	0	84,000	0	84,000
光熱水費	0	0	0	0	22,657	0	22,657
保険料	0	0	0	0	281	0	281
租税公課	0	0	0	0	2,000	0	2,000
委託費	0	0	0	0	401,532	0	401,532
会議費	0	0	0	0	47,208	0	47,208
接待交際費	0	0	0	0	146,238	0	146,238
諸会費	0	0	0	0	341,790	0	341,790
減価償却費	0	0	0	0	104,411	0	104,411
経常費用計（B）	610,712,043	27,377,161	0	26,701,502	1,563,149	0	666,353,855
当期経常増減額（A-B）	△ 13,151,582	△ 1,221,468	0	5,091,100	△ 1,462,149	0	△ 10,744,099
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	1	0	0	0	0	0	1
固定資産除去損	1	0	0	0	0	0	1
他会計振替額	2,514,231	0	0	△ 2,514,231	0	0	0
法人税等充当額	0	0	0	534,300	0	0	534,300
当期一般正味財産増減額	△ 10,637,352	△ 1,221,468	0	2,042,569	△ 1,462,149	0	△ 11,278,400
一般正味財産期首残高	1,351,014,812	△ 2,700,267	0	14,814,555	31,215,611	0	1,394,344,711
一般正味財産期末残高	1,340,377,460	△ 3,921,735	0	16,857,124	29,753,462	0	1,383,066,311
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 12,790,510	0	0	0	0	0	△ 12,790,510
当期指定正味財産増減額	△ 12,790,510	0	0	0	0	0	△ 12,790,510
指定正味財産期首残高	352,171,079	0	0	0	0	0	352,171,079
指定正味財産期末残高	339,380,569	0	0	0	0	0	339,380,569
III 正味財産期末残高	1,679,758,029	△ 3,921,735	0	16,857,124	29,753,462	0	1,722,446,880



## 財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	636,276
普通預金	常陽銀行取手支店	〃	81,438,488
普通預金	常陽銀行取手支店	〃	642,228
普通預金	常陽銀行取手支店	〃	2,546,523
普通預金	常陽銀行取手支店	〃	1,410,127
普通預金	筑波銀行取手支店	〃	10,233,895
普通貯金	茨城みなみ農協寺原支店	〃	221,091
普通預金	みずほ銀行取手支店	〃	125,262
普通預金	筑波銀行西取手支店	〃	11,074
普通預金	中央労働金庫取手支店	〃	169,240
普通預金	水戸信用金庫取手支店	〃	268,286
普通預金	茨城県信用組合取手支店	〃	44,147
定期預金	中央労働金庫取手支店	〃	5,558,178
立替金	委託業者光熱水費として	委託業者の立替分として	603,453
医業未収金	国保連収益として	公益目的事業の収益として	87,486,302
未収金	委託事業費として	〃	7,564,903
前払金	包括会計賃借料として	4月分家賃として	150,000
貸倒引当金	施設会計利用料	〃	△ 554,863
他会計へ配賦	減価償却費、建物、建物更新、建物維持	公益目的事業から収益事業、法人会計へ	56,111,321
流動資産合計			254,665,931
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	常陽銀行取手支店	公益目的保有財産であり運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
定期預金	筑波銀行取手支店		10,000,000
定期貯金	茨城みなみ農協寺原支店		7,000,000
定期預金	みずほ銀行取手支店		8,000,000
特定資産			
建物更新引当預貯金	定期預金	公益目的事業及び収益事業等の積立資産であり、建物更新引当資産として管理されている資産	91,891,476
	常陽銀行取手支店		10,129,749
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		10,129,749
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		10,129,749
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		10,129,749
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		5,000,000
	定期貯金		6,669,000
	茨城みなみ農協寺原支店		70,944,328
	定期預金		44,526,333
	水戸信用金庫取手支店		89,507,827
	定期預金		8,420,467
	中央労働金庫取手支店		

# 財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

	建物設備維持引当預貯金	定期預金 中央労働金庫取手支店	公益目的事業の積立資産であり、 建物設備維持引当資産として管理 されている資産	15,569,906		
		定期預金 中央労働金庫取手支店		42,373,334		
		定期預金 三井住友銀行取手支店		30,301,042		
		定期預金 みずほ銀行取手支店		20,133,789		
		定期預金 みずほ銀行取手支店		5,056,794		
		定期預金 茨城県信用組合取手支店		10,127,716		
		定期預金 茨城県信用組合取手支店		7,217,317		
		退職給付引当預貯金		定期預金 茨城県信用組合取手支店	公益目的事業の積立資産であり、 退職給付引当資金として管理され ている資産	9,885,987
				定期預金 筑波銀行西取手支店		10,135,862
				定期預金 三井住友銀行取手支店		3,028
	建物	1572.63㎡ 取手市野々井1926-8	共有財産であるため、使用面積割 合により、公益目的事業と収益事 業で按分している。	1,054,373,231		
その他の固定資産	構築物一式	構築物(外溝・駐車場・植栽)	共有財産であるため、使用面積割 合により、公益目的事業と収益事 業で按分している。	2		
	什器備品一式	什器備品(ロビーソファー)	公益目的事業で使用	3,382,624		
	車両	車両8台(特装車6台・ワゴン ・ワゴンR)	公益目的事業及び収益事業に使用	7,385,203		
	医療用器械一式	医療用器械(特浴槽/ベッド)	公益目的事業で使用	20,135,141		
	その他の器械一式	その他の器械(厨房器具)		440,648		
	施設利用権	水道施設負担金		893,409		
	ソフトウェア	計算ソフト		2		
	長期貸付金	職員に対するもの		99,920		
固定資産合計					1,640,123,131	
資産合計					1,894,789,062	
(流動負債)	未払金	非常勤職員給与	公益目的事業職員給与	5,058,410		
		食堂運営委託費	公益目的事業の費用	4,581,489		
		賃借料	公益目的事業及び収益事業の費用	865,032		
		光熱水費	公益目的事業、収益事業等、法人 会計の費用	1,562,435		
		その他の事業費	公益目的事業及び収益事業、法人 会計の費用	13,229,771		
	仮受金	職員に対するもの	職員に対する仮受金	23,760		
	賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する賞与の支払いに備え たもの	24,824,672		
	職員預り金	職員に対するもの	公益目的事業職員預り金	1,480,465		
	法人税等充当金	法人税に対するもの	収益事業の費用	534,300		
	他会計から配賦	減価償却費、建物、構築物	収益事業、法人会計から公益目的 事業へ	56,111,321		
流動負債合計				108,271,655		
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備 えたもの	64,070,527		
固定負債合計				64,070,527		
負債合計				172,342,182		
正味財産				1,722,446,880		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法による。

(2) 引当金の計上基準  
退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合額に相当する金額を計上している。なお、基準変更時差異(59,804,925円)については、平成23年度から、12年間で費用処理している。

賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

貸倒引当金

医業未収金の貸倒損失に備えるため、法定繰入率により計上している。

(3) 消費税等の会計処理

免税事業者に該当するため、会計処理は税込方式を適用している。

(4) リース取引の処理方法

少額なものを除き、購入時に固定資産として計上している。

減価償却費相当額は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法で算定している。

(5) 受取補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

業務委託金収益

取手市との委託事業による補助金

地方補助金

高齢者雇用に対する茨城県からの補助金

(単位：円)

科目	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
業務委託金	取手市	0	29,731,047	29,731,047	0
受取地方補助金	茨城県	0	508,333	508,333	0
合計		0	30,239,380	30,239,380	0

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産引当預貯金	35,000,000	0	0	35,000,000
建物更新引当預貯金	389,896,136	0	22,287,960	367,608,176
建物設備維持引当預貯金	135,531,898	0	4,752,000	130,779,898
退職給付引当預貯金	20,021,849	3,028	0	20,024,877
建物	1,085,866,443	0	31,493,212	1,054,373,231
合 計	1,666,316,326	3,028	58,533,172	1,607,786,182

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当額)
基本財産			
基本財産引当預貯金	35,000,000	(35,000,000)	
小 計	35,000,000	(35,000,000)	
特定資産			
建物更新引当預貯金	367,608,176		(367,608,176)
建物設備維持引当預貯金	130,779,898		(130,779,898)
退職給付引当預貯金	20,024,877		(20,024,877)
建物	1,054,373,231	(304,380,569)	(749,992,662)
小 計	1,572,786,182	(304,380,569)	(1,268,405,613)
合 計	1,607,786,182	(339,380,569)	(1,268,405,613)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,143,267,150	1,088,893,919	1,054,373,231
構築物	64,462,550	64,462,548	2
什器備品	18,106,696	14,724,072	3,382,624
車両	28,674,210	21,289,007	7,385,203
医療用器械	64,565,270	44,430,129	20,135,141
その他の器械	6,929,310	6,488,662	440,648
施設利用権	4,155,359	3,261,950	893,409
ソフトウェア	8,271,900	8,271,898	2
合 計	2,338,432,445	1,251,822,185	1,086,610,260

5. 担保に供している資産  
 担保に供している資産はない。
6. 保証債務等の偶発債務  
 保証債務等の偶発債務はない。
7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	12,790,510
合 計	12,790,510

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	20,994,944	24,824,972	20,994,944	0	24,824,672
退職給付引当金	50,290,059	13,780,468	0	0	64,070,527
貸倒引当金	△ 522,403	0	32,460	0	△ 554,863

## 監査報告書

公益財団法人 取手市健康福祉医療事業団  
理事長（代表理事） 藤井信吾 様

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査報告

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行状況に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2019年5月8日

公益財団法人 取手市健康福祉医療事業団

監事

石橋 大輔



公益財団法人 取手市健康福祉医療事業団

監事

海老根 英一



## 平成31年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画

### I 基本方針

当事業団は取手市域における高齢者等の健康・医療・福祉に関する総合的な向上に寄与することを目的としています。その目的を果たすべく、高齢者等への総合的な介護事業を進めてまいります。

具体的には、地域包括ケアシステムの一翼を担うために、生活困難者等の方々への施設利用を含めた福祉サービスの向上や、高齢者ケアサービスの要として地域包括支援センター事業で、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制の推進、介護予防の必要な援助等を行ってまいります。

#### <理念>

- 1 ご利用者様の尊厳を守ります。
- 2 安全に配慮しながら、ご利用者様の生活機能の維持・向上を目指し、総合的に支援します。
- 3 ご家族や地域の人々・関係機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるように支援します。

#### <実践内容>

ご利用者様のケアの実践としてTHF運動を推進して、安心安全のケアサービスを提供いたします。

- 1 Thinking care ご利用者様の立場に立って考える介護
- 2 Hugging care ご利用者様の考えに寄り添う介護
- 3 Follow up care 在宅復帰後もつながりを持ち最後まで関わっていく介護

### II 公益事業

- 1 介護老人保健施設サービス及び短期（予防）入所療養介護サービス（ショートステイ）の運営

#### (1) 生活困難者への支援を目的とした介護老人保健施設の運営

社会福祉法に定める第2種社会福祉事業（自己負担費用の無料又は低額）を行う介護保険施設を運営しています。

これは、生活困難者に対する支援や利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図ることを目的として、利用料の一部を減免しているものです。

また、短期（予防）入所療養介護サービスでは施設の空きベッドを短期間利用し、在宅生活における身体的機能の低下の予防や家族の介護負担の軽減を目的に事業を行っています。短期（予防）入所療養介護サービスも、生活困難者への支援を目的に減免規程を定め、利用料の一部を減免するサービスを実施しています。

#### (2) 介護老人保健施設の運営

<強化型老健の定着と選ばれる介護施設になるために>



介護老人保健施設の特徴は、何と言っても、医師、看護職、介護職、理学・作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の多職種がご利用様の身体機能に合ったケアプランを立案し、リハビリテーション等を行い、自立した在宅生活が営めるようにする施設であります。平成30年度介護報酬改定で示された、在宅復帰支援の10指標を着実に推進し、地域包括ケアシステムに示された介護老人保健施設の運営に努めてまいります。

#### ① 家族会

ご家族からの施設評価軸としての意味合いや、日頃の悩みを話し合っていく機会を作り、情報の共有の場としての機能を強化してまいります。

具体的には、夏・冬に開催する行事（夏・冬まつり）の時に開催してまいります。

#### ② 安全衛生の管理

##### (ア) リスク管理の徹底

要介護状態の高齢者は免疫力の低下を伴っているため、健康・安全両面でハイリスクグループであり、また施設は、集団生活という状況に起因するリスクや、地域に開かれた施設であるがゆえのリスクを常に抱えています。安心してご利用いただけるよう、安全・衛生委員会を中心にリスク管理を徹底してまいります。

##### (イ) 感染症対策の推進

地域に開かれ不特定多数の方がご利用される施設では、常に感染性病原体が持ち込まれる危険をはらんでいます。その危険を最小限にとどめ、まん延を防止するため、各種整備された感染症対応マニュアルをもとに、対策チームを中心に管理徹底を行っています。本年も引き続き、標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底を図り、感染予防備品（マスク・手袋等）も十分に備蓄し対応してまいります。

特にインフルエンザ（新型・季節性）対策としては、ご利用者様及び職員全員の予防接種を行い、迅速診断キットや医薬品の備蓄を引き続き万全にいたします。また、レジオネラ症防止対策として、浴槽及びそれに付随する機器・給湯水・冷却塔の定期的な清掃・点検・細菌検査を引き続き実施いたします。

##### (ウ) 事故等への対応

現在、施設内での事故防止対策として安全・衛生委員会を設置してひやりはっと報告に基づいて、各事例を多方面から分析検討し、事故予防の対策を図っております。事故が起きてからではなく、未然に防ぐため、ご利用者様個別のアセスメントのみならず、ケアプラン・介護状況・環境・連携体制に至るまできめ細かく検討し、ご利用者様に安心安全なサービスの提供ができるように引き続き努力してまいります。

### ③ 個別ケアの充実

THFケアをより実践化させたユマニチュード（ご利用者様の目線で正面から見つめ・優しい前向きな事を何度も話しかけ・ご利用者様と触れ合いながら寝たきりにならないようになるべく立位保持を促す。以上4つの介助方法を用いた手法）を柱にした介護を実践してまいります。

また、老人保健施設の特徴の一つでもある多職種（医師，看護職，介護職，理学・作業療法士，言語聴覚士，薬剤師，管理栄養士，ケアマネージャー等）協働でご利用者様の個別ケアの充実を更に高めてまいります。

#### (ア) 要介護状態の重度化への対応

胃ろう・CV挿入者へのケアの充実を図ってまいります。

#### (イ) ターミナルケア（エンドオブライフケア）の充実

毎月のターミナルケア委員会を中心に，ご利用者様及びご家族の皆様安心してより良き終末期ケアの提供ができるよう充実させてまいります。

#### (ウ) 栄養改善の取組み

低栄養リスクの高いご利用者様に対して，多職種が協働して低栄養状態を改善するための計画を作成して低栄養リスクの改善に努めてまいります。

### ④ 「食」に関する安心安全サービスの充実

施設の生活の中で，ご利用者様が一番楽しみにしているものの一つとして食事が挙げられます。管理栄養士の管理のもと，安全な食材料の提供のため品質管理を徹底して適切な食事摂取が行われるよう支援します。

また，より一層食を楽しんで頂けるように様々な企画を立ててまいります。

#### <食事プロジェクト>

- ・すし祭り
- ・毎月のお楽しみ献立の拡充
- ・流しそうめん祭り（夏期に実施）
- ・毎月のイベント（乳製品・フルーツ・ケーキ等）
- ・2選択メニューの実施（おかずを2種類から選択できるサービスです。

通所限定サービスではデザートや付け合わせを2種類の中から選択できるサービスもあります。）

#### <認知リハビリを兼ねたクラブ活動>

- ・調理クラブ 献立から買い物，調理とご利用者様が全てを行っていくクラブ活動です。
- ・パンクラブ 毎月ご利用者様と一緒に様々なパンを焼き上げます。
- ・ヘルシークッキング 普段補えない栄養を摂取できるようにしたクッキングで，全国の有名店のお菓子に見立てて提供しています。
- ・外出してのランチ 買い物やランチを楽しんでもらう外出会で，支払いも含めご利用者様に全てを行っていただいています。

⑤ リハビリ専門施設としての更なる充実

在宅復帰施設としての要であるリハビリを更に充実して、安心して在宅生活ができるように支援いたします。

また、在宅復帰されたご利用者様のご自宅に訪問し、生活面でのフォローアップを中心に在宅復帰後のサポート体制を充実させ、安心して生活できるようにしてまいります。

(ア) リハビリテーションの多様化

様々な状態に合わせたリハビリテーションを行い、身体機能の維持向上を目指します。

<個別生活動作療法>

摂食及び嚥下練習、関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習）、起居動作練習、ベッドサイドでの起立・立位保持練習、移乗動作練習、歩行練習、トイレ動作練習、床上動作練習、階段（段差）昇降練習、家事動作練習

<物理療法（疼痛の緩和）>

ホットパック（湿式・乾式）、マイクロ波、低周波、足浴

<浮腫療法>

リンパマッサージ、メドマー（治療器械）、筋力増強運動（マシンを使った練習を含む）、足浴

<個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練）、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

<音楽療法>

歌うことや楽器を使用して、音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に行います。

(イ) 機器の拡充

リハビリテーション機器や物理療法機器を使用し、身体機能の維持向上を目指します。

(ウ) 在宅復帰のご利用者様への退所前後訪問の実施

在宅復帰されるご利用者様のご自宅に退所前後に訪問して、快適な生活が営めるように専門職の観点から必要なサービス計画を立案します。

2 通所リハビリテーションサービスの運営

(1) 通所リハビリテーションサービスの運営

在宅生活の維持及び家族の介護負担の軽減を目的に実施しています。具体的には、通所リハビリ計画に基づき、心身の機能の維持回復を図ることを目的に、

医師，看護職，介護職，理学・作業療法士，言語聴覚士，管理栄養士等がリハビリを実施しています。

また，通所リハビリテーションサービスも生活困難者への支援を目的に減免規程を定め，利用料の一部を減免するサービスを実施しています。本年度も安心して在宅生活が営めるようサービスの向上に努めてまいります。

## (2) 通所リハビリテーションの概要

在宅生活の要である通所リハビリテーションは，他の通所サービスとは異なり，医師，看護職，介護職，理学・作業療法士，言語聴覚士，管理栄養士等の多職種が，個別ケアプランに基づきリハビリテーションを実施しています。

また，単にリハビリテーションの提供だけでは通う楽しみも半減してしまいます。そうした観点より，ご利用者様にご満足していただけるように各種イベントを開催して，楽しみながらリハビリが行えるサービスの提供に努め継続したリハビリテーションの効果で身体機能の維持向上に努めてまいります。

### <個別生活動作療法>

関節可動域運動及びポジショニング(姿勢維持のための練習)，起居動作練習，移乗動作練習，歩行練習，トイレ動作練習，床上動作練習，階段(段差)昇降練習

### <物理療法(疼痛の緩和)>

ホットパック(湿式・乾式)，マイクロ波，低周波，足浴

### <浮腫療法>

リンパマッサージ，メドマー(治療器械)，筋力増強運動(マシンを使った練習を含む)，足浴

### <個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション(見当識の訓練)，学習療法，回想法，運動療法，リラクゼーション・マッサージ療法，作業療法

### <音楽療法>

歌うことや楽器を使用して音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを，心身の障害の回復，機能の維持改善，生活の質の向上に向けて，意図的，計画的に行います。

### <機器の拡充>

リハビリテーション機器や物理療法機器を使用し，身体機能の維持向上を目指します。

### <各種イベント等>

ご利用される皆様に喜んでいただけるイベント等を立案して，通う楽しみを提供し，継続したリハビリの提供ができるようにしてまいります。

外出会・・・普段外出して買い物等ができないご利用者様へ買い物等の機会を提供します。(年14回予定)

月例会・・・毎月イベントを開催して、通う楽しみを提供します。

クラブ活動・リハビリの一環でもある約10種のクラブ活動を更に充実させ、活動意欲の向上に努めます。

### 3 地域包括支援センター事業の運営

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を送ることができるようにするため、心身の健康の維持、生活の安定のために必要な相談・援助を行うことにより、福祉の増進及び保健医療の向上を図り、包括的に支援していく中で地域包括ケアシステムの確立を目指します。

また、地域包括ケアシステムの推進を担う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的なサービスの調整、地域におけるネットワークの構築・再生等、地域の様々なニーズに応えることができる高齢者福祉の「ワンストップサービスの拠点」となることを目指し、各種の事業を実施してまいります。

#### (1) 包括的支援事業

##### ① 総合相談支援業務

###### <実態把握>

窓口や電話での相談を始め、地域住民からの連絡、介護予防教室等の参加状況の把握、独居又は高齢者世帯等支援を要する家庭への訪問などを行うことにより、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等についての実態調査を行うことで、地域に存在する隠れた問題やニーズを発見し、必要に応じ一般介護予防事業につなげる等、早期対応できるようにします。

###### <総合相談業務>

地域において安心できる拠点としての役割を果たすため、関係機関との連携のもと様々な相談内容について、総合的かつ迅速に対応できる体制を作ります。介護保険サービス以外にも様々な社会資源を把握し、相談者への適切な支援につながるようにします。

###### <地域支援ネットワーク構築業務>

効率的・効果的に地域包括支援センターの業務を行い、支援を必要とする高齢者を見出し、保健・医療・福祉サービスを始めとする適切な支援につなぎ、継続的な見守りを行い、更なる問題の発生を予防します。

また、地域住民等が主体となって行う地域介護予防活動支援事業に係るサポーター活動の支援や健康相談・教育等を実施し、地域団体等と日頃から連携を図り、実際の活動に活用できるように体制を強化します。

これにより、閉じこもり等による廃用症候群の予防に資するほか、虐待等困難事例について早期に発見し、介入あるいは見守り活動を行うことができるようにします。

## ② 権利擁護業務

### ＜成年後見制度の活用＞

認知症などにより判断能力の低下が見られる場合には、適切な介護サービス利用や、金銭管理、法的行為などのため成年後見人制度等を活用した支援を行います。

### ＜高齢者虐待への対応＞

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、速やかに当該高齢者の状況を把握し、市と連携を図りながら適切な対応を行います。

### ＜困難事例への対応＞

困難事例を把握した場合は、実態把握の上、地域包括支援センターの専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が連携して対応を検討します。

### ＜消費者被害の防止＞

地域団体・関係機関との連携のもと、消費者被害情報の把握を行い、情報伝達と適切な対応により被害を未然に防ぐように支援するとともに、被害の回復のための機関を紹介します。

## ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

### ＜包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築＞

施設・在宅を通じた地域における包括的・継続的なケアを実施するため、関係機関との連携を構築し、地域の介護支援専門員が介護保険サービス以外の様々な社会資源（地域の活力）を活用できるように、地域の連携・協力体制を整備します。

### ＜介護支援専門員に対する支援・指導並びに被保険者に対する包括的かつ継続的な支援の環境の整備＞

居宅介護支援事業所の介護支援専門員の日常業務の実施に関し、専門的な見地からの個別指導や相談への対応を行います。

また、取手市介護支援専門員連絡協議会へ参加し情報提供や活動支援を行うほか、事例検討会・研修会を開催し、介護支援専門員の資質の向上を図るための支援を行うとともに、地域の介護支援専門員が、日常的に円滑な業務を実施できるように、介護支援専門員のネットワークの構築に努めます。

## ④ 地域ケア個別会議の充実

介護支援専門員が抱える困難事例や、地域住民や関係機関による支援要請事例等について、多職種による検討を行い、自立支援に資するケアマネジメントの支援並びに地域で不足している社会資源の把握及び開発につながるよう、地域ケア個別会議の充実に努めます。

また、本人の自立支援・重度化防止を図るための介護予防のための地域ケア個別会議を実施します。

## ⑤ 認知症施策の推進

日々の総合相談や認知症相談により支援を必要とする住民の把握を行い、相談後カンファレンスに参加する等、認知症の疑いのある者の早期発見・対応、

適切なサービス利用や家族支援、生活環境の調整等を行います。

また、認知症サポーター養成講座の開催等を通じて、地域住民への正しい知識の普及を図ります。

さらに、認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームと連携し、認知症の人やその家族が状況に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、ケア体制の構築に努めます。

#### ⑥ 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、市と共同で医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進するため、取手市医師会が実施する事業に協力します。

#### ⑦ 生活支援サービス（介護予防サービス含む）の体制整備

高齢者が生きがいを持ちながら暮らしていくためには、日常生活を支えていく生活支援サービス（介護予防サービス含む）の体制整備を図っていくことが必要不可欠であり、多種多様なサービスの充実を図るため、生活支援コーディネーターと連携するとともに、協議体を実施し協働でその取り組みを推進します。

なお、介護予防のための地域ケア個別会議には、生活支援コーディネーターも参画し、充実した生活支援サービスの体制整備を推進します。

#### (2) 第1号介護予防支援事業

介護予防・日常生活支援総合事業のうち、基本チェックリスト該当者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境、その他の状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービス等適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行います。

#### (3) その他

厚生労働省が作成した地域包括支援センター業務マニュアルをはじめ、地域包括支援センターの設置運営や地域支援事業の実施についての厚生労働省からの通知に沿って、地域支援事業を実施するものとします。

また、各事業の実施に当たっての実施方法及び各種様式などについては、受託仕様にのっとり行ってまいります。

### 4 職員の処遇改善

社会問題となっている人材の不足を解消するために、今まで以上に働く人が魅力を感じる職場づくりを目指し、以下の充実を図ってまいります。

#### (1) 人事考課

キャリアパス（職員の資格や能力、勤続年数等に応じて、具体的な処遇アップやポスト、役職（処遇や役職のステップアップ経路）を決める等級制度）を確実に実行し、職場において自己を十分に発揮できるように職員のやる気を鼓舞してまいります。

## (2) 職員教育制度の充実

職員教育制度を充実させ、新人職員からベテラン職員に至るまでサービス提供者のプロとしてふさわしい人材になるための教育プログラムを更に充実させた、キャリア段位制度（業務の中で現在わかること（知識）、できること（実践的スキル）を詳細に分析及び評価して、次のステップに進むためには何が必要かを、目に見える形で指導実践していくもので、その熟練度＝7段位に評価する制度）の導入を進めてまいります。また、他の先進施設への実務研修や勉強会等の拡充、外部研修会・老人保健施設協会の全国や県大会での研究発表等への参加を通じて、看護・介護・リハビリ等のスタッフ間で技能向上に努めた交流を図ってまいります。

## (3) 奨学金制度

職員のスキル向上を目的とした奨学金制度を充実させ、資格取得を支援し、より良いケアの提供に努めてまいります。

## (4) 健康管理部による健康管理の徹底

介護施設で働く職員環境の改善や職員の健康管理を目的に、産業医の指導のもと、積極的かつ効果的に職員の健康管理に努めてまいります。

### ① 健康管理活動

- ・定期健康診断実施後の産業医による保健指導及び健康相談
- ・労働安全衛生法に基づくストレスチェック

### ② 教育活動

- ・産業医による健康セミナー
- ・メンタルヘルスセミナー

### ③ 健康づくり活動

- ・健康ニュース（新聞）の発刊
- ・職員への健康セミナー参加等推進活動

### ④ 職員の福利厚生

- ・職員の働く意欲やスキルアップを鼓舞するための奨学金制度の継続
- ・資格取得のための支援
- ・資質向上のための研修、技術指導等による職員の能力向上
- ・休暇制度の充実によるストレスの改善

## 5 高齢者の公衆衛生に関する指導相談事業

<地域貢献事業及び相談援助事業>

「緑寿荘セミナー」の開催

一般市民を対象に、健康的で、できる限り要介護状態にならないための健康維持に関する各種講座を開催し、地域高齢者へ健康維持の啓発活動を行ってまいります。



「認知症予防セミナー及び緑寿荘カフェ」の開催

一般高齢者を対象に認知症予防セミナーを開催し、認知症に関する啓発及び認知症予防のための講義やトレーニングを実施してまいります。

また、セミナー終了後にオレンジカフェを開き、悩みや情報を共有しながら交流を図ることを目的に開催してまいります。

「介護教室」の開催

老人保健施設は在宅復帰を推進する施設であります。その際、大事になってくるのはご自宅での介護方法です。ご家族様の目線に立ち、排泄・入浴・食事等の基本の介護技術を学び、安心して在宅復帰できるように支援してまいります。

「健康なんでも相談」の実施

電話・FAX・メール等を利用して、取手市民の方の健康に関する相談を受け付け、迅速に具体的解決方法を相談者へ回答いたします。

<市からの受託事業>

「きらり笑顔教室」の開催

取手市からの受託事業で、一般高齢者に運動能力の向上、栄養改善、口腔ケア、閉じこもりの予防等に関する講習会を専門家の指導のもと実施してまいります。

「元気ハツラツ教室」の開催

取手市からの受託事業で、高齢者の方で運動機能の低下が見られる方に運動機能の向上を目的とした介護予防事業を専門家の指導のもと実施してまいります。

### Ⅲ その他の事業

<居宅介護支援事業>

高齢者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して、支援を行ってまいります。そのためにも専門性の高い介護支援専門員を育成し、地域社会に信頼される事業所の体制作りを目指します。

また、地域の高齢者の情報窓口である民生委員等の皆様と今まで以上に情報を共有し、安心して生活できるよう支援してまいります。

#### 1 地域に信頼される居宅介護支援事業所として

(1) 定期的な会議を通じて各介護支援専門員のケース情報を共有し、いつでもバックアップを行えるチームケアの体制を構築してまいります。

(2) 24時間の相談体制により、ご利用者様が安心して在宅での生活が継続できるようにしてまいります。それと同時に、緊急時に対応できるように対処してまいります。

#### 2 多様なニーズを持つご利用者様に対応できる介護支援専門員の育成

(1) 計画的な事業所内研修の実施により、個々の知識と援助技術を深めてまいります

ます。

- (2) 各種研修会等へ積極的に参加し、地域の介護支援情報の把握・介護保険制度の変化等の情報を収集し、適切な援助を行えるようにしてまいります。

#### IV 設備の更新及び修繕

長期修繕計画に基づき計画的修繕を実施して、安心安全に施設をご利用いただけるように次の修繕等を計画しています。

また、サービス向上を目的とした施設内の改修工事を実施してまいります。

- ・入所中の方は全員2階の食堂で食事を提供していますが、快適な空間を確保するために、1、2階でそれぞれ食事の提供ができるように1階フロアー及びリハビリ室を改修します。
- ・計画的な施設内廊下照明及び居室内照明のLEDへの交換
- ・医師会病院への連絡通路の撤去

#### V 会計別予算計上

##### 1 法人会計

- (1) 公益財団法人の管理運営
- (2) 理事会・評議員会の開催

##### 2 介護老人保健施設会計

- (1) 介護老人保健施設入所・短期入所・通所リハビリテーション等の事業運営
- (2) 季節行事の実施（入所・通所）夏まつり・冬まつり・家族会・野外レクレーション・毎月行う季節イベント・緑寿荘セミナー等
- (3) 設備・修繕等
- (4) 職員研修の実施
- (5) 建物更新引当資産及び建物設備維持引当資産の管理

##### 3 地域包括支援センター会計

- (1) 包括的支援事業
- (2) 介護予防支援業務
- (3) 職員研修の実施

##### 4 居宅介護支援事業所会計

- (1) 介護保険制度の相談等
- (2) 介護（介護予防）サービス計画の実施
- (3) 受託契約の履行（介護保険認定調査の実施等）
- (4) 職員研修の実施

# 平成31年度

## 予 算 書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

介護老人保健施設会計

地域包括支援センター会計

居宅介護支援事業所会計

法 人 会 計

収支予算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	介護老人保健施設 会計	地域包括支援センター 会計	居宅介護支援事業所 会計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	3,000	0	3,000
基本財産受取利息	0	0	0	3,000	0	3,000
特定資産運用益	100,000	0	0	0	0	100,000
特定資産受取利息	100,000	0	0	0	0	100,000
事業収益	628,563,000	648,000	28,736,000	0	0	657,947,000
介護保健施設介護料収益	364,111,000	0	0	0	0	364,111,000
居宅介護料収益	154,310,000	0	0	0	0	154,310,000
利用者等利用料収益	110,142,000	0	0	0	0	110,142,000
居宅介護支援料収益	0	0	28,736,000	0	0	28,736,000
介護予防収益	0	648,000	0	0	0	648,000
受取補助金等	14,250,000	27,989,000	2,760,000	0	0	44,999,000
業務委託金	0	27,989,000	2,760,000	0	0	30,749,000
受取地方補助金	1,460,000	0	0	0	0	1,460,000
受取補助金振替額	12,790,000	0	0	0	0	12,790,000
雑収益	497,000	0	96,000	0	0	593,000
経常収益計(A)	643,410,000	28,637,000	31,592,000	3,000	0	703,642,000
(2) 経常費用						
事業費	645,538,000	31,824,000	28,850,000	0	0	706,212,000
役員報酬	349,000	6,000	6,000	0	0	361,000
給与手当	289,278,000	17,710,000	17,080,000	0	0	324,068,000
臨時雇賃金	45,869,000	3,545,000	3,152,000	0	0	52,566,000
退職給付費用	18,641,000	1,912,000	480,000	0	0	21,033,000
法定福利費	47,176,000	2,767,000	3,287,000	0	0	53,230,000
医薬品費	5,302,000	0	0	0	0	5,302,000
施設療養材料費	1,116,000	0	0	0	0	1,116,000
その他の材料費	16,565,000	0	0	0	0	16,565,000
介護給付費減免	10,768,000	0	0	0	0	10,768,000
福利厚生費	2,330,000	47,000	44,000	0	0	2,421,000
旅費交通費	165,000	210,000	0	0	0	375,000
通信費	957,000	388,000	330,000	0	0	1,675,000
減価償却費	53,000,000	30,000	710,000	0	0	53,740,000
施設消耗器具備品費	3,689,000	0	0	0	0	3,689,000
消耗器具備品費	2,827,000	112,000	15,000	0	0	2,954,000
消耗品費	5,128,000	355,000	191,000	0	0	5,674,000
修繕費	27,388,000	50,000	100,000	0	0	27,538,000
職員被服費	986,000	60,000	60,000	0	0	1,106,000
車両費	2,295,000	144,000	253,000	0	0	2,692,000
光熱水費	21,725,000	600,000	348,000	0	0	22,673,000
印刷製本費	281,000	72,000	0	0	0	353,000
賃借料	15,200,000	2,837,000	1,994,000	0	0	20,031,000
保険料	931,000	104,000	96,000	0	0	1,131,000
租税公課	179,000	21,000	165,000	0	0	365,000
雑費	651,000	167,000	19,000	0	0	837,000
委託費	71,651,000	127,000	352,000	0	0	72,130,000
研修費	1,091,000	560,000	168,000	0	0	1,819,000
管理費	0	0	0	1,606,000	0	1,606,000
役員報酬	0	0	0	305,000	0	305,000
給与手当	0	0	0	133,000	0	133,000
退職給付費用	0	0	0	13,000	0	13,000
法定福利費	0	0	0	20,000	0	20,000
旅費交通費	0	0	0	100,000	0	100,000
通信費	0	0	0	10,000	0	10,000
減価償却費	0	0	0	50,000	0	50,000
消耗品費	0	0	0	1,000	0	1,000
接待交際費	0	0	0	150,000	0	150,000
諸会費	0	0	0	342,000	0	342,000
光熱水費	0	0	0	22,000	0	22,000
会議費	0	0	0	50,000	0	50,000
租税公課	0	0	0	5,000	0	5,000
雑費	0	0	0	3,000	0	3,000
委託費	0	0	0	402,000	0	402,000
経常費用計(B)	645,538,000	31,824,000	28,850,000	1,606,000	0	707,818,000
当期経常増減額(A-B)	△ 2,128,000	△ 3,187,000	2,742,000	△ 1,603,000	0	△ 4,176,000

収支予算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	介護老人保健施設会計	地域包括支援センター会計	居宅介護支援事業所会計			
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,371,000	0	△ 1,371,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 757,000	△ 3,187,000	1,371,000	△ 1,603,000	0	△ 4,176,000
一般正味財産期首残高	1,358,191,000	△ 4,643,000	25,469,000	29,956,000	0	1,408,973,000
一般正味財産期末残高	1,357,434,000	△ 7,830,000	26,840,000	28,353,000	0	1,404,797,000
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	△ 12,791,000	0	0	0	0	△ 12,791,000
当期指定正味財産増減額	△ 12,791,000	0	0	0	0	△ 12,791,000
指定正味財産期首残高	339,778,000	0	0	0	0	339,778,000
指定正味財産期末残高	326,987,000	0	0	0	0	326,987,000
III 正味財産期末残高	1,684,421,000	△ 7,830,000	26,840,000	28,353,000	0	1,731,784,000

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定	<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
金額	使途			

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は取得資金の使途	
公1	緑寿荘改修工事	18,040,000 円		建物更新引当預金取崩	
公1	高架通路解体工事	13,554,000 円		建物設備維持引当預金取崩	
公1	インターネット館内回線設置工事	1,696,000 円		建物設備維持引当預金取崩	
公1	低床ベッド5台	3,745,000 円		自己資金	
公1	送迎車リース	3,024,000 円		自己資金	
公1	食器乾燥機	2,300,000 円		自己資金	
公1	ネットワーク機器	2,221,000 円		自己資金	
公1	リハビリ機器ローリング	900,000 円		自己資金	
公1	エレベーター型車椅子	750,000 円		自己資金	
公1	リハビリ機器メデルゴ	410,000 円		自己資金	
公1	PCAソフトバージョンアップ	300,000 円		自己資金	
公1	コクヨワイドテーブル	273,000 円		自己資金	
公1	看護用包交車	123,000 円		自己資金	
公1	リハビリ用巨大積み木	100,000 円		自己資金	
総合計		47,436,000 円			

